

## 2023年3月期第2四半期決算 Web 会議 議事録 主な Q&A

○質疑応答○

### Q1. 下期計画の見通しについて

A1. 上期について加工事業は1Qで修正した見込み通りだったが、食肉事業と海外事業は想定以上に厳しく、上期の事業利益は152億円となった。下期の厳しい環境もふまえて計画を精査し、通期で360億円の事業利益を見込む。

### Q2. 加工事業本部の今期の事業利益計画の見通しについて

A2. 上期は2月の価格改定により主力ブランドの販売数量減となったが、2Q以降回復基調にあり、シャウエッセンのブランド力を軸に下期は大型販促を実施する。10月の価格改定では製造利益をしっかりと確保していく。生産ラインの見直しを進め、通期で75億円の事業利益を見込む。

### Q3. 食肉事業本部の今期の事業利益計画の見通しについて

A3. 上期は輸入牛肉の原料高と想定を上回る飼料価格高騰で苦戦した。下期も生産部門が引き続き影響を受けるが、インバウンドと外食需要の回復によりフード営業が伸長する見込みである。また、輸入食肉は引き続き厳しいものの、国産鶏肉が堅調に推移することから330億円の事業利益を見込む。

### Q4. 海外事業本部の今期の事業利益計画の見通しについて

A4. 上期は豪州産牛肉の生産・調達コスト上昇による収益圧迫や、ウルグアイの牛生体価格の高騰が響いた。米州では加工品の価格改定で収益性が改善するが、豪州産牛肉の販売価格の下落や出荷頭数の回復遅れもあり、厳しい状況を見込む。

### Q5. 来期への期待について

A5. 来期の組み立てについては検討中である。来期も厳しい環境が想定されるが、増益に向けて取り組む。

以上